

広島大学第34回東京イブニングセミナー

- 日時: 2011年1月19日(水) 18:00 ~ 21:00 (受付 17:30~)
- 場所: 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター(下図参照:JR田町駅 芝浦口 徒歩1分)
- 費用: 講演会・無料、交流会・2,000円(当日支払い)
- 主催: 広島大学(社会連携推進機構)



■講演プログラム

1. 18:00~18:10 講師紹介及び関連企業の紹介
講師紹介 大前 和也 (東京オフィス 所長)
日本海洋事業株式会社の紹介 取締役副社長 加藤美志彦
2. 18:10~19:50 講演・質疑応答

(1) 海洋研究開発機構における深海調査の歴史と現状について ~「しんかい6500」が見た深海の世界~

日本海洋事業株式会社 取締役副社長 加藤美志彦

<概要> 1983年我が国初の本格的有人深海調査船「しんかい2000」が完成し日本周辺海域での深海調査が開始されました。その後、1990年には水深6500mまで潜航可能な「しんかい6500」が完成しました。これは今でも現役では世界一の潜航能力を持ち、毎年60回以上研究者を乗船させ潜航調査を行っています。調査対象海域は我が国周辺や太平洋をはじめ、遠く大西洋やインド洋でも潜航調査を行い、これまでに1000回を超える深海調査を行ってきました。また、無人探査機などによる深海探査技術をもとに1999年にエンジントラブルで小笠原諸島北西海域に落下したH2ロケットの第1段エンジンLE7を3000mの海底で発見するなど、世界第1級の深海調査能力を持つに至りました。今回は有人潜水調査船を中核とした深海調査の現状を報告します。

(2) 支援母船「よこすか」と「しんかい6500」の運航

日本海洋事業株式会社 「しんかい6500」運航チーム司令 桜井 利明

<概要> 概要の説明に加え、支援母船「よこすか」船上で現場の指揮を執る「しんかい6500」運航チームの司令からビデオ画像を中心に深海底の様子を紹介します。

3. 20:00 ~ 21:00 交流会

- お申込み方法: 添付の「参加申込書」に所定の事項を記入頂き、FAXあるいはE-mailにて下記までお申込み下さい。(定員 100名)

申込み・問合せ先

広島大学東京オフィス
東京都港区芝浦3-3-6
キャンパスイノベーションセンター409号室

電話: 03-5440-9065
FAX: 03-5440-9117
E-mail: liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

